

昭和女子大学

キャリアデザイン・ポリシーとキャリア科目の体系

学生の皆さんへ

昭和女子大学は、学生の皆さんが、在学中に“キャリア”をデザインする力を養い、卒業後は自分に適した職業に就いて、社会人・職業人として自立した人生を歩めるように、キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）を策定し、キャリア教育を推進しています。

“キャリア”は、卒業後の就職に止まるものではありません。“キャリアデザイン”は、あなたの長い人生をどのように生きていくか、その中心に職業・就業において人生を計画することです。

昭和女子大学

■キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）

1. 本学での学修と実践を通して、継続就業や再就業に係る職業意識・職業観を磨き、長い生涯にわたる自分の生き方を設計するキャリアデザイン力を養う。
2. 学科の「キャリアデザイン・ポリシー」に基づき、「専門教育科目」を体系的に履修することによって、その特性を活かした職業・就業分野で社会的に自立できる職業人を育成する。
3. 国際的な視野と豊かな教養、職業上の倫理観を身につけ、自立した人間として21世紀の男女共同参画社会を担う人材を育成する。

■キャリア科目の体系

本学における「キャリア科目」は、「キャリアコア科目」を含む一般教養科目および各学科の専門教育科目の総体から成り立っています。皆さんは、これらの科目を「キャリアデザイン・ポリシー」に沿って体系的に履修することにより、専門を活かした職業に必要な知識、技能、能力や態度を修得します。

1. 全学共通キャリアコア科目（一般教養科目）

女性として、長い生涯にわたるキャリアをデザインするうえで必要な基礎的知識と方法について学びます。

- ◇「キャリアデザイン入門」（必修）1年後期
 - ◇「女性の生き方と社会」
 - ◇「女性とキャリア形成」
 - ◇「企業と社会のルール」
- （1科目選択必修）2年～3年前期
- （選択）3年・4年後期

2. 一般教養科目：キャリアデザイン・ポリシーと履修の体系

人間や歴史、社会、文化、さらにはそれらを取り巻く環境、自然についての知を拡げ、それによりものの見方、考え方の基盤を築き、自らの視点に立って判断し、行動できる力を身につけます。

一般教養科目のキャリアデザイン・ポリシーと一般教養の体系については、3～4頁を参照して下さい。

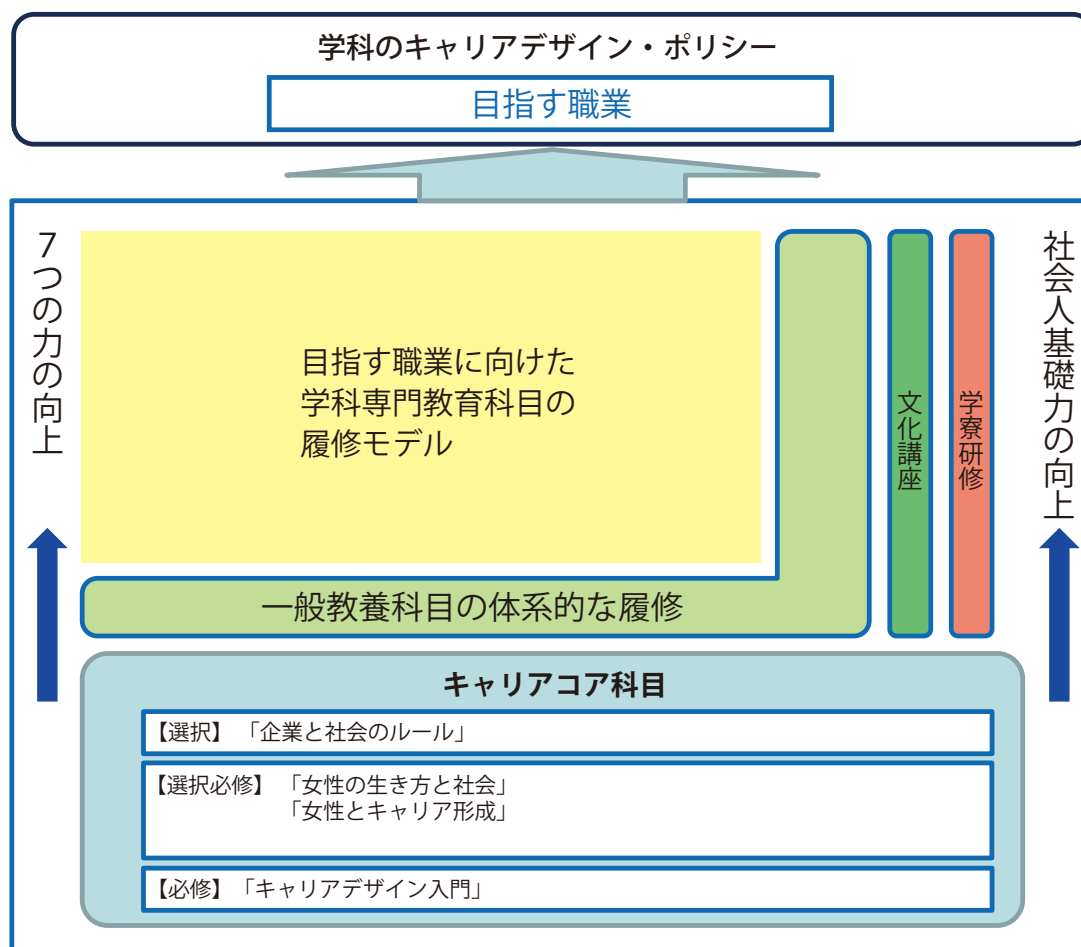
3. 専門教育科目：学科のキャリアデザイン・ポリシーと履修モデル

各学科は、独自のキャリアデザイン・ポリシーを掲げ、専門教育科目の特性を活かした職種・職業（目指す職業）と、それらに就くために適した「履修モデル」を具体的に提示しています。

「履修モデル」は履修計画の目安として活用して下さい。

各学科の「目指す職業と履修モデル」の詳細については6頁以降を参照して下さい。

目指す職業とキャリア科目の体系



夢を実現する7つの力

大学時代に身につけておきたい力、仕事や生活に必要な力を「夢を実現する7つの力」とし、在学中に身につけ高めておくべき力を具体的に示しています。これらを目標に、持っている力をバランスよく高めていきましょう。

- (1) グローバルに生きる力
- (2) 外国語を使う力
- (3) ITを使いこなす力
- (4) コミュニケーションをとる力
- (5) 問題を発見し目標を設定する力
- (6) 一歩踏み出して行動する力
- (7) 自分を大切にする力

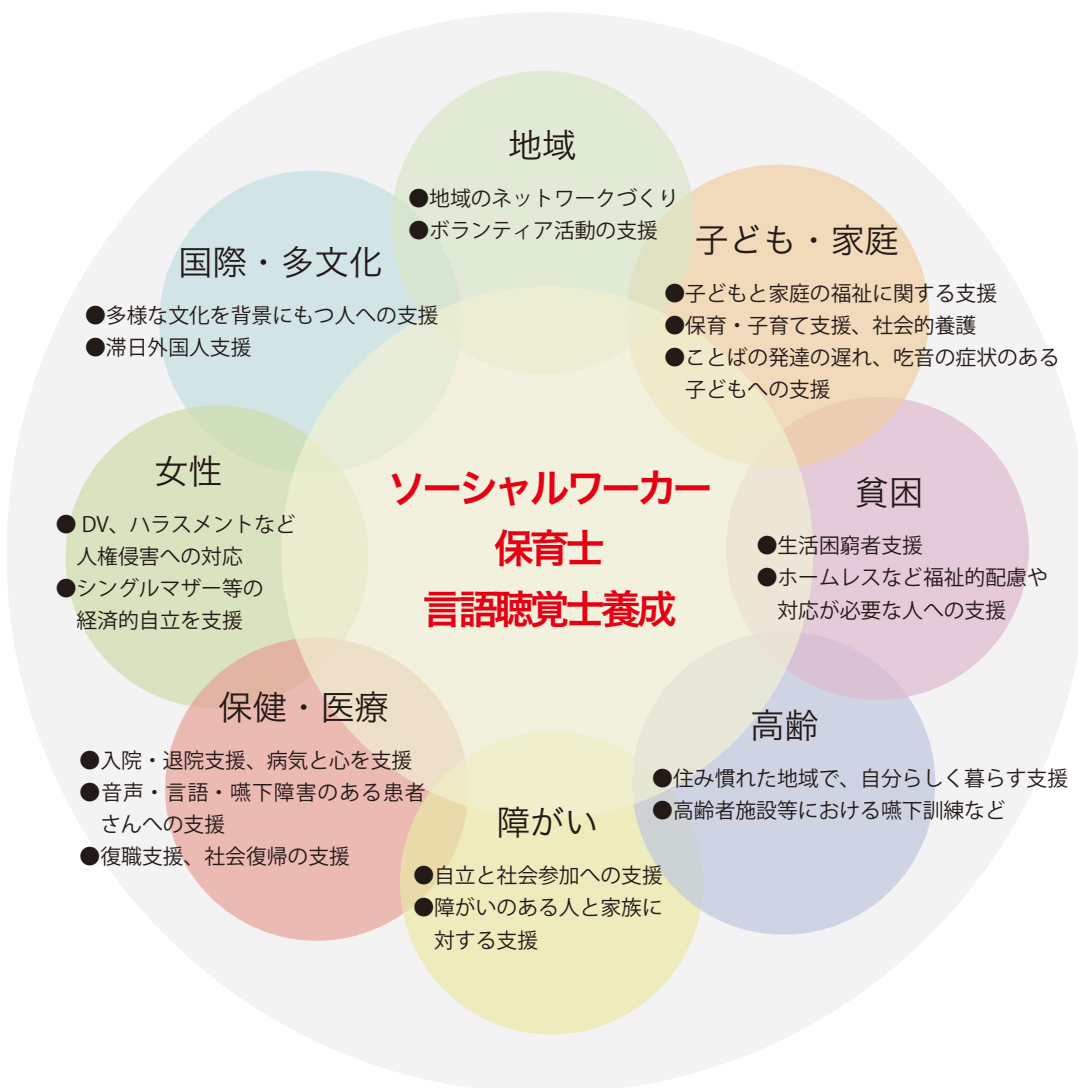
福祉社会学科

キャリアデザイン・ポリシー

福祉・保健・医療の専門的知識・技術、倫理観を基盤に、国内外における社会的課題を解決し、人々の幸福と社会の発展に寄与できる人材を育成します。

1. 社会福祉の専門的知識・技術を修得し、地域社会において多領域で活躍するソーシャルワーカーを養成する。
2. 保育とソーシャルワークの知識と技術を修得し、子育て支援、家族支援のできる保育士を養成する。
3. 医学的知識・技術を修得し、ことばや聞こえ、嚥下などの悩みを抱える人に対して、福祉的視点をもって支援することのできる言語聴覚士を養成する。
4. 国際・多文化社会における福祉課題を解決するための視野、人間性、コミュニケーション力を有し、福祉社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

【福祉社会学科の学びと活躍の場】



福祉社会学科

< 社会福祉士：目指す職業と履修モデル >

※ SW: ソーシャルワーカー

保健医療福祉系	高齢者福祉系	障害者福祉系	地域・国際福祉系	福祉行政系 (国家公務員・地方公務員)
<ul style="list-style-type: none"> ●国公立医療センター (医療 SW) ●大学病院 (医療 SW) ●一般病院 (医療 SW) ●診療所 (医療 SW) ●介護老人保健施設 (医療 SW) ●在宅療養支援診療所 (医療 SW) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括支援センター (社会福祉士) ●特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、介護老人保健施設 (生活相談員) ●居宅介護サービス事業所 (生活相談員、介護従事者) ●福祉用具貸与事務所 (福祉用具専門相談員) 	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者支援施設 (生活支援員) ●居宅介護事業所 (障害者・児居宅介護従事者、生活相談員) ●就労移行支援事業所 (就労支援員、生活支援員) ●指定相談事業所 (相談支援専門員) ●発達障害者支援センター (生活支援員、生活相談員) ●就労支援機関 (職業相談員) 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会 ●独立型社会福祉士事務所 ●福祉系民間企業 ●特例子会社 ●生活協同組合 ●独立行政法人国際協力機構 (JICA) ●非政府組織 (NGO) ●特定非営利活動法人 (NPO) ●教育機関 (福祉科教員、スクール SW) 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般行政職、家庭裁判所調査官、保護観察官 ●身体・知的障害者更生相談所 (身体・知的障害者福祉司) ●児童相談所 (児童福祉司) ●婦人相談所 (婦人相談員) ●福祉事務所 (ケースワーカー) ●県庁・市区役所 (福祉職) ●子ども・若者総合相談センター (社会福祉士、精神保健福祉士)

大学院

社会福祉士

4 年 次	ソーシャルワーク演習Ⅲ		卒業論文 専門演習Ⅱ A・Ⅱ B	専門特別実習	一般教養科目・外国語科目・文化講座
3 年 次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ・Ⅳ 更生保護制度 就労支援サービス	ソーシャルワーク演習Ⅱ A・Ⅱ B ソーシャルワーク実習指導Ⅱ A・Ⅱ B ソーシャルワーク実習	専門演習Ⅰ A・Ⅰ B	メンタルヘルスソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク論 雇用労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論	
2 年 次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ 地域福祉の理論と方法Ⅱ 保健医療サービス 社会保障Ⅰ・Ⅱ 社会調査の基礎	低所得者に対する支援と生活保護制度 福祉サービスの組織と経営 福祉行財政と福祉計画 権利擁護と成年後見制度 ソーシャルワーク演習Ⅰ A・Ⅰ B ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワークプロジェクトⅡ・Ⅲ 福祉英語Ⅱ	生活福祉経営論 加齢と障害の理解 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉	
1 年 次	現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ 地域福祉の理論と方法Ⅰ 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ・Ⅱ 障害者に対する支援と介護保険制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 人体の構造と機能及び疾病 心理学理論と心理的支援 社会理論と社会システム	ソーシャルワークプロジェクトⅠ 福祉社会とボランティア 福祉英語Ⅰ 基礎演習	女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論	
	社会福祉士科目		学科必修科目	学科独自科目	

※ 4年間の履修によって社会福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

福祉社会学科

<社会福祉士・精神保健福祉士：目指す職業と履修モデル>

※ SW: ソーシャルワーカー

保健医療系	福祉行政系 (国家公務員・地方公務員)	地域・精神保健福祉系
<ul style="list-style-type: none"> ●精神科国公立医療機関（精神科 SW） ●精神科民間医療機関（精神科 SW） ●精神科クリニック（精神科 SW） ●在宅療養支援診療所（医療 SW） 	<ul style="list-style-type: none"> ●法務省（社会復帰調整官） ●保健所（精神保健福祉相談員） ●精神保健福祉センター（精神保健福祉相談員） ●ハローワーク（相談員） ●教育機関（スクール SW） 	<ul style="list-style-type: none"> ●精神障害者復帰施設（生活支援員、生活相談員） ●居宅介護事業所（障害者居宅介護従事者、生活相談員） ●移動支援事業所（障害者居宅介護従事者、生活相談員） ●民間企業（就労支援）

大学院

社会福祉士・精神保健福祉士

4 年 次	ソーシャルワーク演習Ⅲ 精神保健福祉援助演習Ⅱ・Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ A・Ⅱ B 精神保健福祉援助実習	専門演習Ⅱ A・Ⅱ B	専門特別実習	一般 教養 科目 ・ 外国 語科 目 ・ 文化 講座	
3 年 次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ・Ⅳ 更生保護制度 就労支援サービス ソーシャルワーク演習Ⅱ A・Ⅱ B ソーシャルワーク実習指導Ⅱ A・Ⅱ B ソーシャルワーク実習	精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ 精神科リハビリテーション学 精神保健福祉援助技術総論 精神保健福祉援助技術各論 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	専門演習Ⅰ A・Ⅰ B		メンタルヘルスソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク論 雇用労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論
2 年 次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ 地域福祉の理論と方法Ⅱ 保健医療サービス 社会保障Ⅰ・Ⅱ 社会調査の基礎 低所得者に対する支援と生活保護制度	福祉サービスの組織と経営 福祉行財政と福祉計画 権利擁護と成年後見制度 ソーシャルワーク演習Ⅰ A・Ⅰ B ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 精神疾患とその治療	ソーシャルワークプロジェクトⅡ・Ⅲ 福祉英語Ⅱ		生活福祉経営論 加齢と障害の理解 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉
1 年 次	現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ・Ⅱ 地域福祉の理論と方法Ⅰ 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ・Ⅱ 障害者に対する支援と障害者自立支援制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 人体の構造と機能及び疾病 心理学理論と心理的支援 社会理論と社会システム 精神保健の課題と支援	ソーシャルワークプロジェクトⅠ 福祉社会とボランティア 福祉英語Ⅰ 基礎演習		女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論
社会福祉士・精神保健福祉士科目		学科必修科目	学科独自科目		

※ 4年間の履修によって社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

福祉社会学科

<社会福祉士・保育士：目指す職業と履修モデル>

※ SW: ソーシャルワーカー

児童福祉系	福祉行政系 (地方公務員)	女性福祉系
<ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所（保育士） ●乳児院（児童指導員、保育士、家庭支援専門相談員） ●児童養護施設（家庭支援専門相談員、児童指導員、保育士） ●福祉型・医療型児童発達支援センター（児童相談員・保育士） ●福祉型・医療型障害児入所施設（児童指導員、保育士） ●自立援助ホーム（児童指導員） ●児童自立支援施設（児童生活支援員） ●教育機関（スクールSW） 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童相談所（児童福祉司） ●一時保護所（児童指導員、保育士） ●児童家庭支援センター（家庭支援専門員） ●公立保育所（保育士） ●福祉事務所（母子自立支援員） ●公務員（男女共同参画課） 	<ul style="list-style-type: none"> ●母子生活支援施設（母子支援員、少年指導員、保育士） ●婦人保護施設（生活指導員） ●民間シェルター（ケースワーカー） ●男女共同参画センター ●外国人女性への支援機関（相談員）

大学院

社会福祉士・保育士

年次	社会福祉士・保育士科目	学科必修科目	学科独自科目	一般教養科目・外国語科目・文化講座	
4年次	ソーシャルワーク演習Ⅲ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ	専門演習Ⅱ A・Ⅱ B	専門特別実習		
3年次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ・Ⅳ 更生保護制度 就労支援サービス ソーシャルワーク演習Ⅱ A・Ⅱ B ソーシャルワーク実習指導Ⅱ A・Ⅱ B ソーシャルワーク実習	子どもの保健Ⅱ 児童・家庭ソーシャルワーク 保育ソーシャルワーク 保育実践演習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設）	専門演習Ⅰ A・Ⅰ B	メンタルヘルスソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク論 雇用労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論	
2年次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ 地域福祉の理論と方法Ⅱ 保健医療サービス 社会保障Ⅰ・Ⅱ 社会調査の基礎 低所得者に対する支援と生活保護制度 福祉サービスの組織と経営 福祉行財政と福祉計画 権利擁護と成年後見制度 ソーシャルワーク演習Ⅰ A・Ⅰ B ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	保育原理（保育士） 保育者論 保育の心理学Ⅱ 子どもの保健Ⅰ A・Ⅰ B 子どもの食と栄養 保育課程論 乳児保育 障害児保育 社会的養護内容 レクリエーション援助法 保育実習指導Ⅰ A	ソーシャルワークプロジェクトⅡ・Ⅲ 福祉英語Ⅱ	生活福祉経営論 加齢と障害の理解 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉	
1年次	現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ 地域福祉の理論と方法Ⅰ 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ・Ⅱ 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 人体の構造と機能及び疾病 心理学理論と心理的支援 社会理論と社会システム	教育原理（保育士） 社会的養護 保育の心理学Ⅰ 保育内容総論（保育士） アート基礎Ⅰ アート基礎Ⅱ 保育内容－健康 保育内容－人間関係 保育内容－環境 保育内容－言葉 保育内容－表現 音楽表現Ⅰ	ソーシャルワークプロジェクトⅠ 福祉社会とボランティア 福祉英語Ⅰ 基礎演習	女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論	一般教養科目・外国語科目・文化講座

※ 4年間の履修によって社会福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

※ 4年間の履修によって保育士資格を取得できる。

福祉社会学科

< 言語聴覚士：目指す職業と履修モデル >

※ ST：言語聴覚士

小児保健医療系	小児福祉・教育系	成人保健医療	成人福祉系	関連企業
<ul style="list-style-type: none"> ●小児医療センター (小児担当 ST) ●小児療育センター (小児担当 ST) 	<ul style="list-style-type: none"> ●障害児福祉センター (小児担当 ST) ●児童発達支援センター (小児担当 ST) ●難聴児通園施設 (難聴児担当 ST) ●特別支援学校 (聴覚障害担当 ST/ 肢体不自由担当 ST/ 知的障害担当 ST) 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学病院 (リハビリテーション科 ST/ 脳神経外科 ST/ 耳鼻咽喉科 ST/ 形成外科 ST など) ●一般病院 (リハビリテーション科 ST など) ●診療所 (耳鼻咽喉科 ST/ 音声障害 ST など) 	<ul style="list-style-type: none"> ●身体障害者福祉センター (言語/聴覚/嚥下障害担当 ST) ●高齢者福祉施設 (言語/聴覚/嚥下障害担当 ST) 	<ul style="list-style-type: none"> ●補聴器メーカー (ST) ●人工内耳メーカー (ST)

言語聴覚士

4 年 次	臨床実習 (学外実習)	卒業論文 専門演習 II A・II B		一般教養科目・外国語科目・文化講座
3 年 次	臨床心理学 失語症学 II 高次脳機能障害学 II 失語・高次脳機能障害学検査法演習 II 言語発達障害学 II	発声発語障害学 III～IV 嚥下障害学 発声発語障害学評価法演習 II 臨床実習 (臨床実習評価法演習)	専門演習 I A・I B メンタルヘルスソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク論 雇用労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論	
2 年 次	臨床歯科医学・口腔外科学 音声言語医学 聴覚医学 生涯発達心理学 神経心理学 学習・認知心理学 音響学・聴覚心理学 I・II 言語聴覚診断学 失語症学 I	高次脳機能障害学 I 失語・高次脳機能障害学検査法演習 I 言語発達障害学 I A・I B 言語発達障害学検査法演習 I・II 発声発語障害学 I・II 発声発語障害学評価法演習 I 聴覚障害学 II～IV 聴覚検査法演習	ソーシャルワークプロジェクト II・III 福祉英語 II 生活福祉経営論 加齢と障害の理解 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉	
1 年 次	医学総論・リハビリテーション医学総論 人体の構造と機能 I・II 疾病の科学 (病理学) 臨床医学 I～IV 心理測定法 I・II 言語学	音声学 言語発達学 言語聴覚障害学総論 言語聴覚障害学基礎演習 I・II 聴覚障害学 I (総論・聴力検査)	ソーシャルワークプロジェクト I 福祉社会とボランティア 福祉英語 I 基礎演習 女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論	
	言語聴覚士科目	学科必修科目	学科独自科目	

※ 4年間の履修によって言語聴覚士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが求められる。